

<p>■ 御田植祭</p> <p>○田んぼで水辺で安らぐ鳥</p>	<p>02:07</p>	<p>N 志摩市磯部町(いそべちよう)。伊雑宮(いざわのみや)では、御田植祭(おたうえまつり)が行われます。</p>
<p>○竹細工の文字アップ</p>	<p>02:16</p>	<p>N この伊雑宮の御田植祭は、大阪府の住吉大社(すみよしたいしや)、千葉県(ちば)の香取神宮(かとりじんぐう)とともに、日本三大御田植祭りの一つに挙げられます。</p>
<p>○田んぼの苗</p>	<p>02:29</p>	<p>N ゆったりした祭りと思ったら、何故か田んぼの周りには、裸の男たちの姿が。</p>
<p>○田んぼの周りを囲む裸の青年たち</p>	<p>02:37</p>	<p>N いつからともなく、田んぼの泥の投げ合いが始まり、それがヒートアップ。いつの間にやら、男たちの泥だらけの取っ組み合いへと発展していきます。</p>
<p>○泥を体に取り組み合う男たち</p>	<p>02:50</p>	<p>N これは、竹取神事(たけとりじんじ)と呼ばれ、大団扇(おおうちわ)のついた竹を奪い合うというもの。</p>
<p>○竹取神事ロング</p>	<p>02:58</p>	<p>N 奪った竹の切れ端は、神棚に祀り、お守りにするそうです。</p>
<p>○大団扇を中心に回転する男たち</p>	<p>03:06</p>	<p>N 勇壮な竹取神事が終わると、田んぼの様相は一変し、平安情緒あふれる御田植神事(おたうえしんじ)が始まります。</p>
<p>○御田植え神事ロング</p>	<p>03:06</p>	<p>N 勇壮な竹取神事が終わると、田んぼの様相は一変し、平安情緒あふれる御田植神事(おたうえしんじ)が始まります。</p>

<p>○田植えする人々</p> <p>グ ○田植えする人々中ロン</p> <p>○太鼓を打つ稚児</p> <p>ち ○田植えをする奉仕者たち</p>	<p>03:22</p> <p>03:33</p> <p>03:46</p>	<p>★ エイヤ</p> <p>もともとは、その年の豊作を祈ったり、占ったりしたのが始まりだとされるこの祭り。</p> <p>N 打ち鳴らす太鼓の音色。そして、</p> <p>(田んぼを通りゆく詩(うた)声。平安朝の古式ゆかしい衣装をまとった人々。</p> <p>N のどかな田楽(でんがく)に合わせ田植えするその姿は、どこか懐かしい気持ちにさせてくれる、耳と目に優しい「美し(うまし)」「ひとときです。」</p>
--	--	---